

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念に加えて地域の特性が活かされた事業所独自の理念を職員全員で作りに上げる取り組みはまだおこなわれていない。	ラパスらしさを大切に事業所理念(目標)を作り上げよう。	①職員各自に記述式アンケートを行う。 ②集計する。 ③定例会議で話し合い、理念(目標)を決定する。	3ヶ月
2	2	日常生活の中で入居者と近隣住民の交流の機会が少ない。	ラパス主催のオープン喫茶“いこい”を開催し、近隣の方々と交流していこう。	①2ヶ月に1回の割合で曜日と時間を決めてオープン喫茶“いこい”を開催する。対象者は、入居者とその家族と近隣の方とする。 ②ポスティングや掲示にてお知らせする。 ③近所のボランティアをお願いする。	6ヶ月
3	12	重度化や終末期の対応に関する事業所方針について職員間で検討を重ねていくことができていない。	看取りについて職員全員で情報を共有して考えていこう。	①看取りに関して必要な知識を勉強会で学ぼう。 ②他事業所の情報を得よう。GH交流会に参加して事例を聞かせてもらおう。 ③話し合いの場を設けて、情報や思いを共有する。	6ヶ月
4	13	災害時の備品のリスト化・管理状況・活用方法について職員間で検討することが必要である。	災害時の対策を再検討し、安心できるよう準備しよう。	①職員各自に備蓄品や災害対策のアンケートを実施する。 ②集計し、リストを作成する。 ③定例会議で備蓄品準備の手順や管理方法を確認する。	6ヶ月
5	18	入居者の意向や体調・天候等を考慮しながら少しの時間でも事業所の外に出る機会を増やしていく工夫が必要である。	外の空気をたくさん体内に取り入れ、体も脳も活性化させよう。	①足の筋力がつくような運動を取り入れよう。 ②出来るだけ1日1回ラパス建物を一周する。 ③歩ける人は自治公民館まで歩いていく。 ④買物ディを設けて自分の好みのものを自分で購入していただく。月1回程度の予定。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。